

1 趣旨

本市教育行政をより効率的かつ効果的なものとするため、今後の市教育委員会点検評価(以下「点検評価」という。)の進め方や活用方法等を検討するもの

2 点検評価の進め方に対する課題等(委員会での意見等に基づく)

- ・指標の設定内容について(指標自体が事業の成果を適切に把握できる内容か。設定している目標値の根拠や数値が妥当か。)
- ・前年度とほぼ同内容の意見が出されている

3 県内同規模自治体(施行時特例市)との比較

自治体名	教育委員会の評価対象	点検・評価委員会の評価対象及び方法	その他特記事項等
厚木市	全事業	全事業を事業別に評価	委員の総括的意見を記載
平塚市	全事業 ※各施策から2事業程度を詳細に記載	全事業を基本方針ごとに評価(事業別には評価していない)	点検評価委員会の評価(意見)に対する教育委員会の見解(今後の取組等)を記載
小田原市	全事業	全事業を基本方針ごとに評価(事業別には評価していない)	前年度評価事項に対する具体的な取組内容を記載
茅ヶ崎市	全事業	全事業を政策別・重点施策別にそれぞれ評価(事業別には評価していない)	事業の進捗度を把握するため、成果指標と活動指標の二つの指標を設定し、事業の進捗状況を把握
大和市	全事業	委員会としての評価等の記載なし(教育委員会の自己点検評価の記載内容に含まれている可能性あり)	指標の設定理由・根拠を記載

4 評価の進め方の検討案

(1) 改善案

- ・指標欄に「設定理由・目標値の根拠」を記載
- ・前年の委員意見を踏まえた取組状況の把握・報告

(2) 検討案

点検・評価委員の評価の進め方について、次のいずれかの方法での実施を検討(教育委員会の自己評価については、毎年度全事業実施することを前提とする)

- ①毎年度全ての事業を評価(現状どおり)
- ②基本方針ごとに事業を評価
- ③委員任期を踏まえ2年に分けて全事業を評価
例)1年目は基本方針1～4、2年目に5～8を評価
- ④一部事業を抜粋して評価
例)委員が選考した事業を評価。事務局が選考した事業を評価。新規事業を評価 等